

スーパーマーケット景気動向調査

10月調査結果(9月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年10月22日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

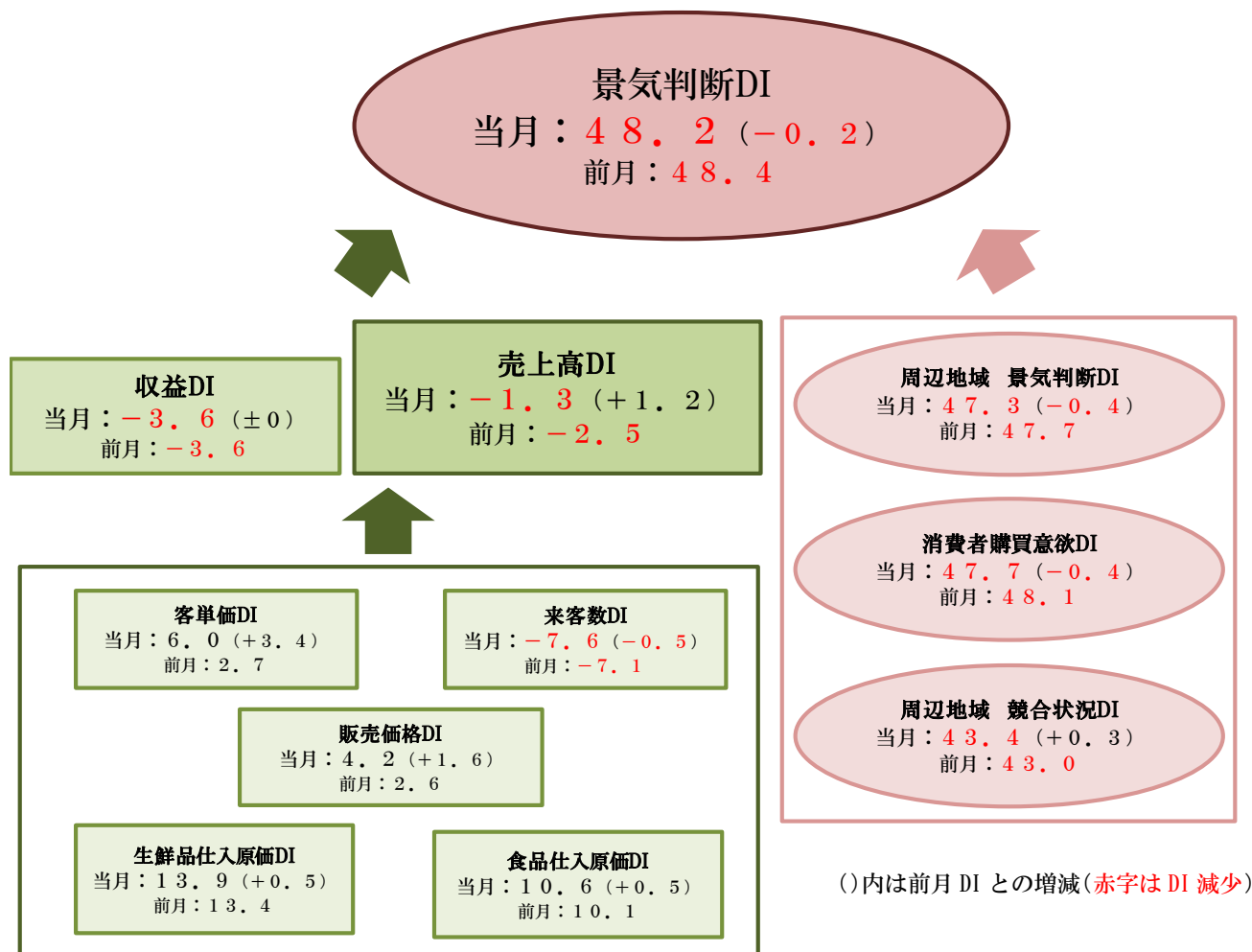
景気判断（現状判断 DI）は横ばい、仕入原価 DI の上昇も客単価 DI が上昇を示す

9月スーパーマーケット中核店舗における景気判断 48.2 とほぼ横ばいとなった。

経営動向調査によると売上高 DI が-1.3 と改善したものの、収益 DI は-3.6 と変化がなかった。生鮮品仕入原価 DI、食品仕入原価 DI とともに依然として高い水準となっているが、販売価格 DI が+1.6 の 4.2 とプラスを維持し、客単価 DI は+3.4 の 6.0 とどちらも上昇した。来客数 DI には改善傾向はみられず-7.6 となっている。

景況感調査はすべての DI に大きな変化はみられず横ばいでの推移となった。現状判断については、競合状況 DI を除いて依然として高水準を維持しているものの、見通し判断はやや弱含みとなっており、現状と見通し判断の乖離幅がやや拡大してきている。来春からの消費増税が正式に決定し、スーパーマーケットを取り巻く環境は不透明さを増しているため、見通し判断については今後も慎重な見方が広がっていくと考えられる。

2013年9月 スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2013年9月キーワード TOP 3

1. 青果相場高
2. 気温低下(前年との気温差大)
3. 連休商戦(お彼岸)

スーパーマーケット経営動向調査

当月：9月速報版集計 240社
前月：8月確報版集計 245社

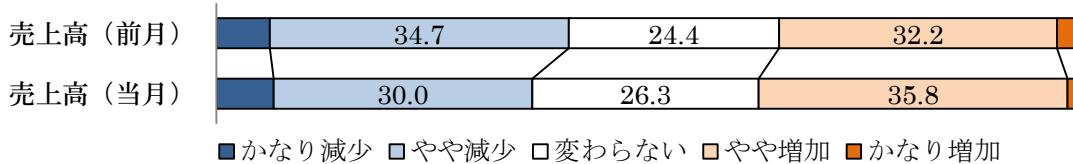
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「やや増加」が小幅に増加、「やや減少」が小幅に減少（DIは上昇）

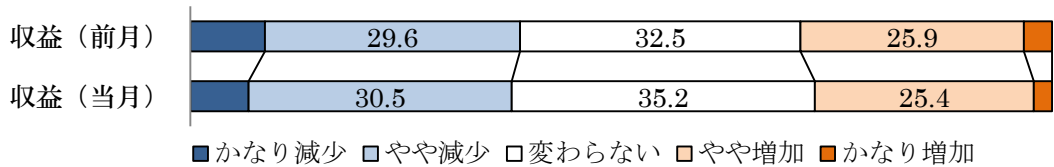
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	6.2	34.7	24.4	32.2	2.5	-2.5
売上高（当月）	6.7	30.0	26.3	35.8	1.3	-1.3



②収益 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

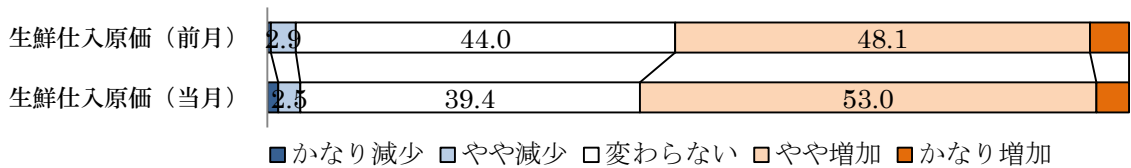
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	8.6	29.6	32.5	25.9	3.3	-3.6
収益（当月）	6.8	30.5	35.2	25.4	2.1	-3.6



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」が増加（DIには大きな変化なし）

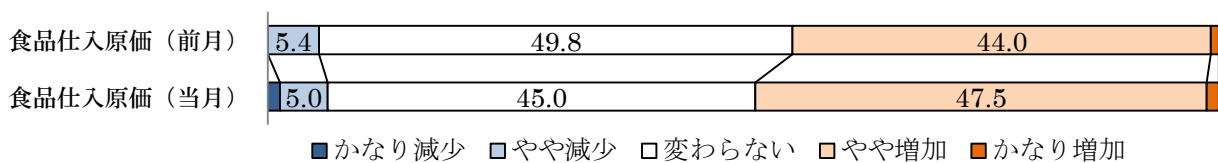
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.4	2.9	44.0	48.1	4.6	13.4
生鮮仕入原価（当月）	1.3	2.5	39.4	53.0	3.8	13.9



④食品仕入原価 DI

「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.0	5.4	49.8	44.0	0.8	10.1
食品仕入原価（当月）	1.3	5.0	45.0	47.5	1.3	10.6



⑤販売価格 DI

「やや増加」が増加（DIは上昇）

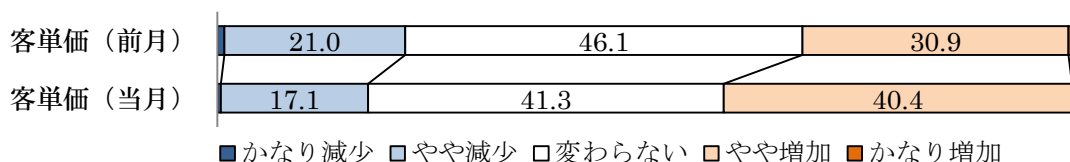
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.8	12.7	61.9	24.6	0.0	2.6
販売価格 (当月)	1.3	10.4	59.2	28.8	0.4	4.2



⑥客単価 DI

「やや増加」が増加、「変わらない」が減少（DIは上昇）

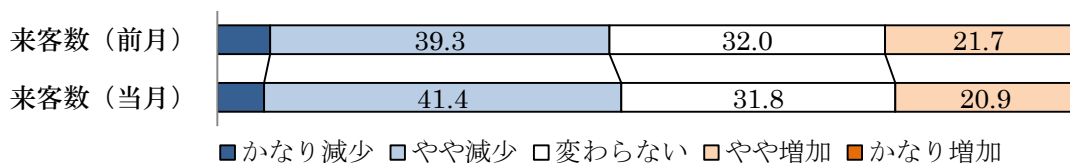
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.8	21.0	46.1	30.9	1.2	2.7
客単価 (当月)	0.4	17.1	41.3	40.4	0.8	6.0



⑦来客数 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	6.1	39.3	32.0	21.7	0.8	-7.1
来客数 (当月)	5.4	41.4	31.8	20.9	0.4	-7.6

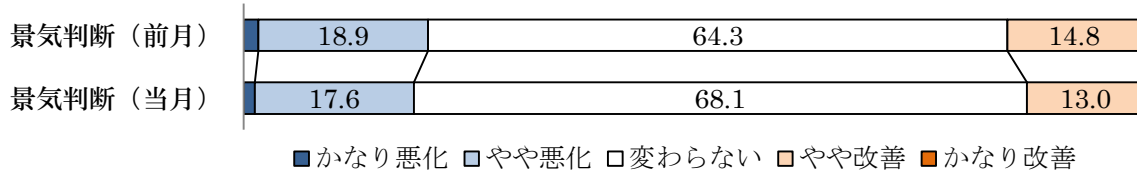


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

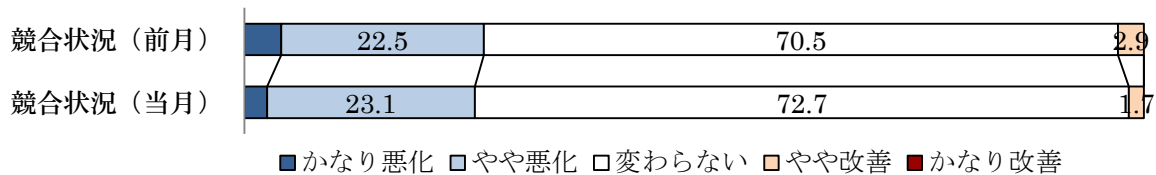
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.6	18.9	64.3	14.8	0.4	48.4
景気判断（当月）	1.3	17.6	68.1	13.0	0.0	48.2



②周辺競合状況 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

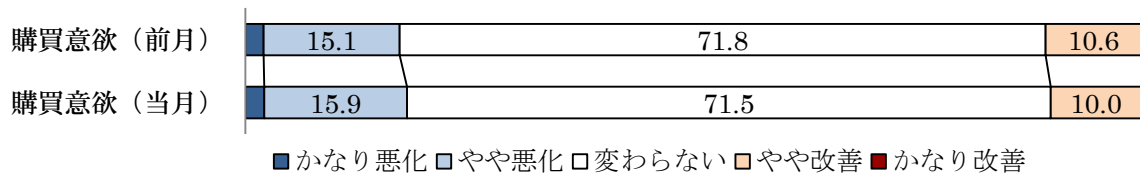
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.1	22.5	70.5	2.9	0.0	43.0
競合状況（当月）	2.5	23.1	72.7	1.7	0.0	43.4



③消費者購買意欲 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

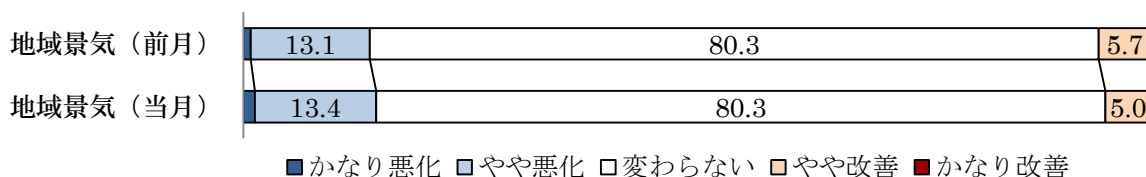
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	2.0	15.1	71.8	10.6	0.4	48.1
購買意欲（当月）	2.1	15.9	71.5	10.0	0.4	47.7



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DI に大きな変化なし）

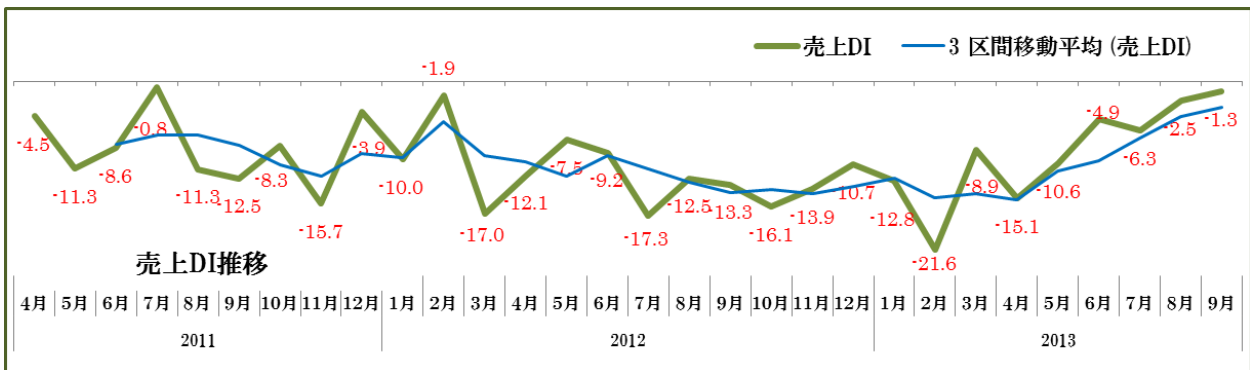
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.8	13.1	80.3	5.7	0.0	47.7
地域景気（当月）	1.3	13.4	80.3	5.0	0.0	47.3



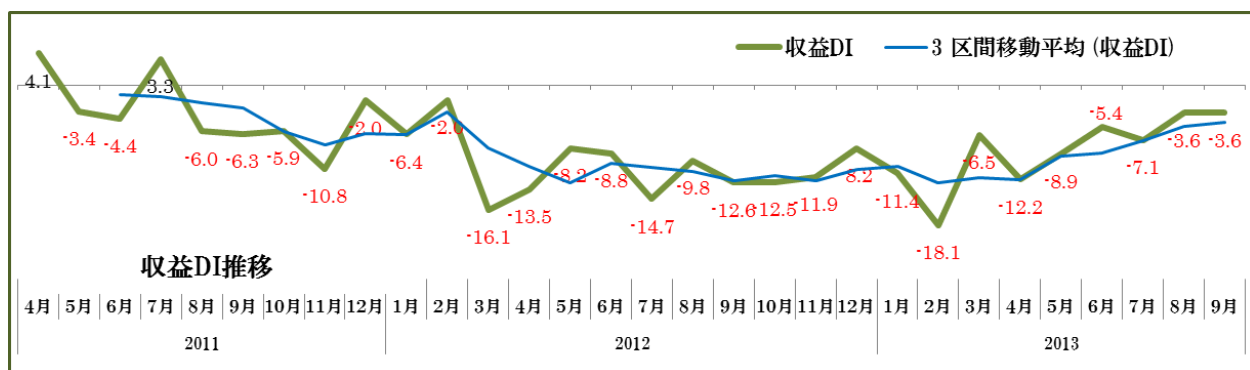
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

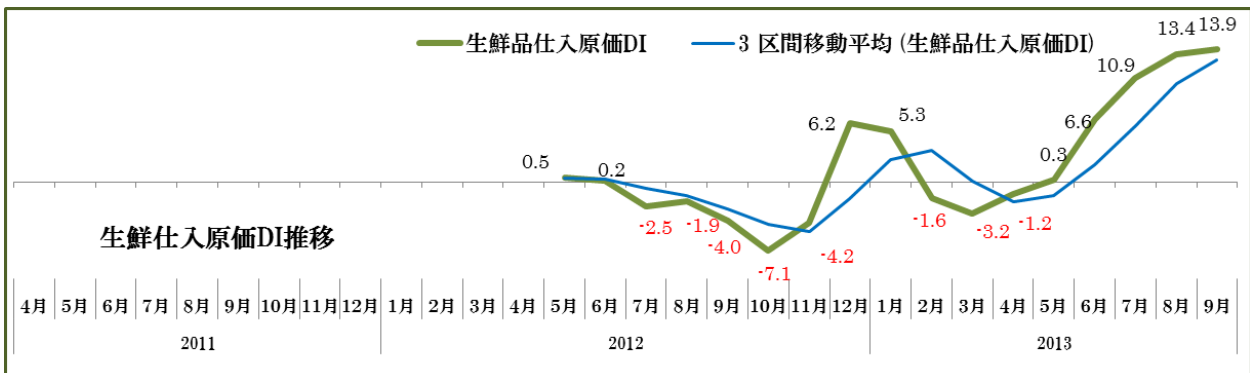
①売上高DI 改善傾向が続く



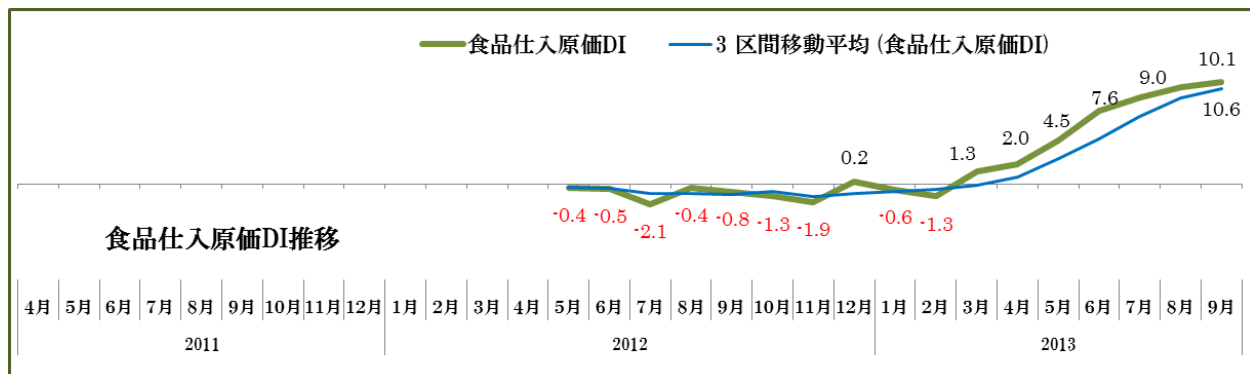
②収益DI ゆるやかな改善傾向が続く



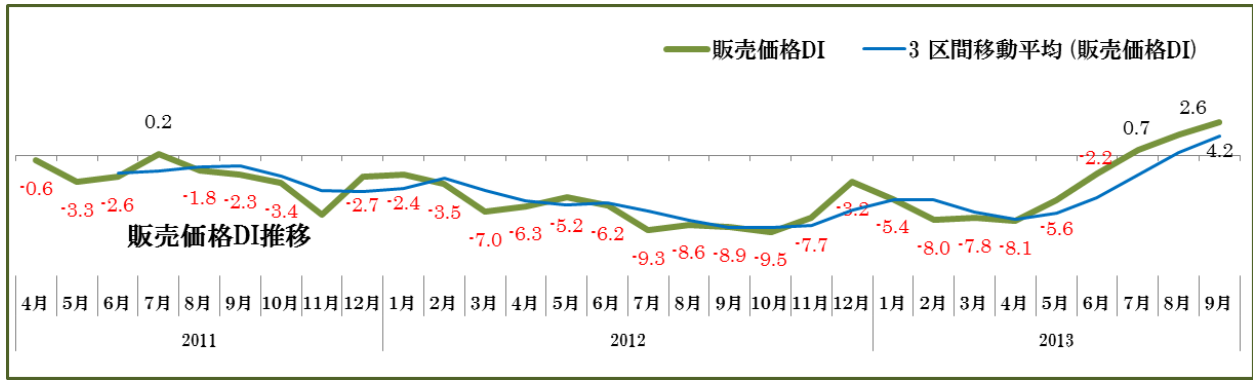
③生鮮仕入原価DI 急激な上昇傾向は一服も高止まり



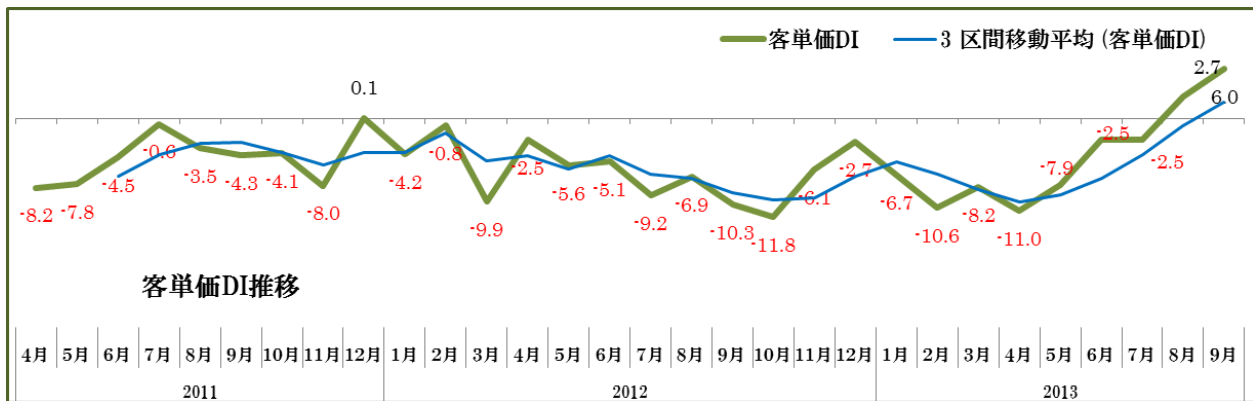
④食品仕入原価DI 2月以降の上昇傾向がつづく



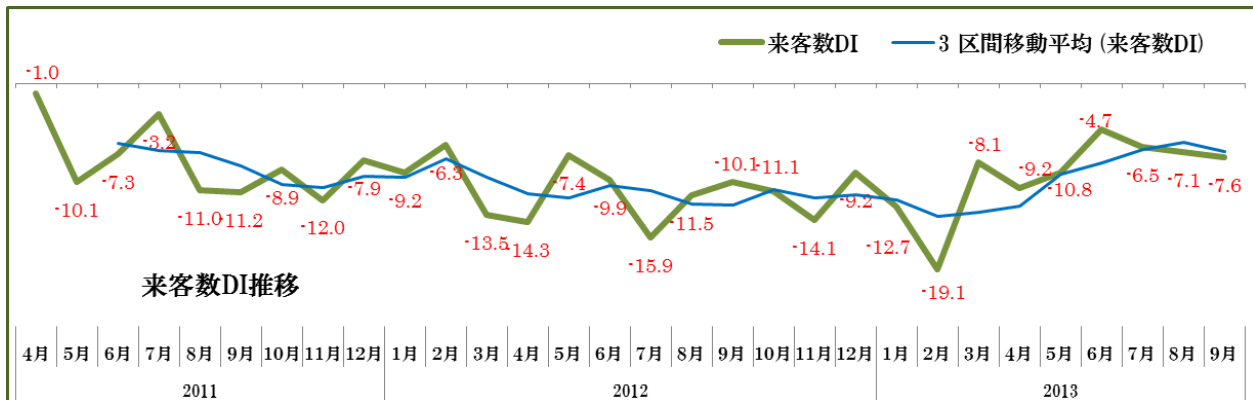
⑤販売価格DI 4月以降上昇傾向



⑥客単価DI 4月以降上昇傾向



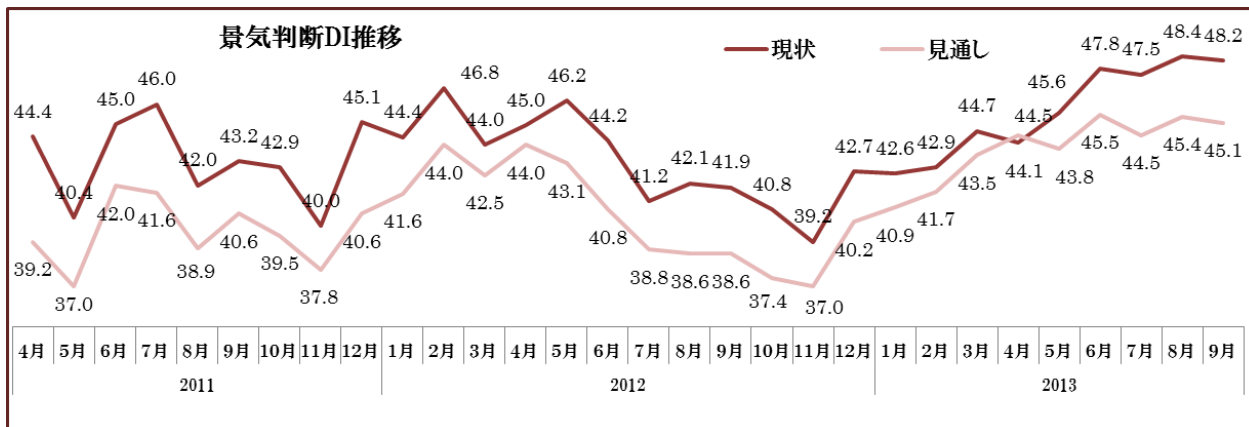
⑦来客数DI やや下降傾向



2. スーパーマーケット景況感調査

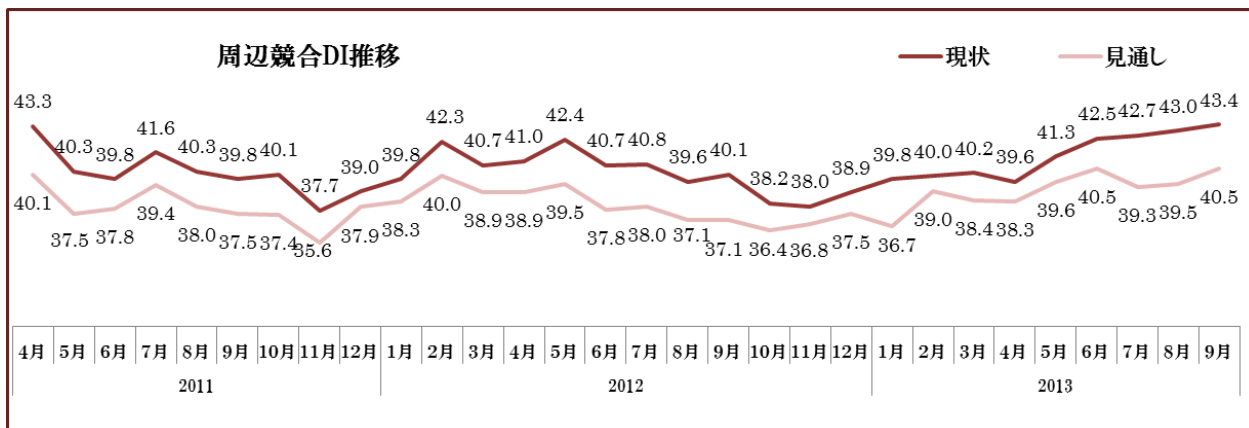
①景気状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断は高水準を維持、見通し判断は横ばいで、乖離が目立つ



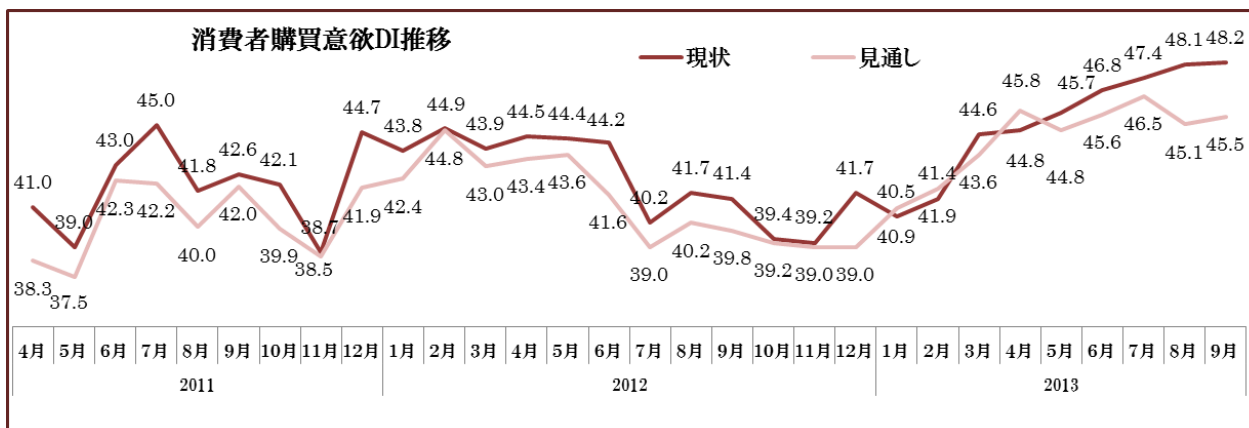
②周辺競合状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断共に横ばい傾向が続く



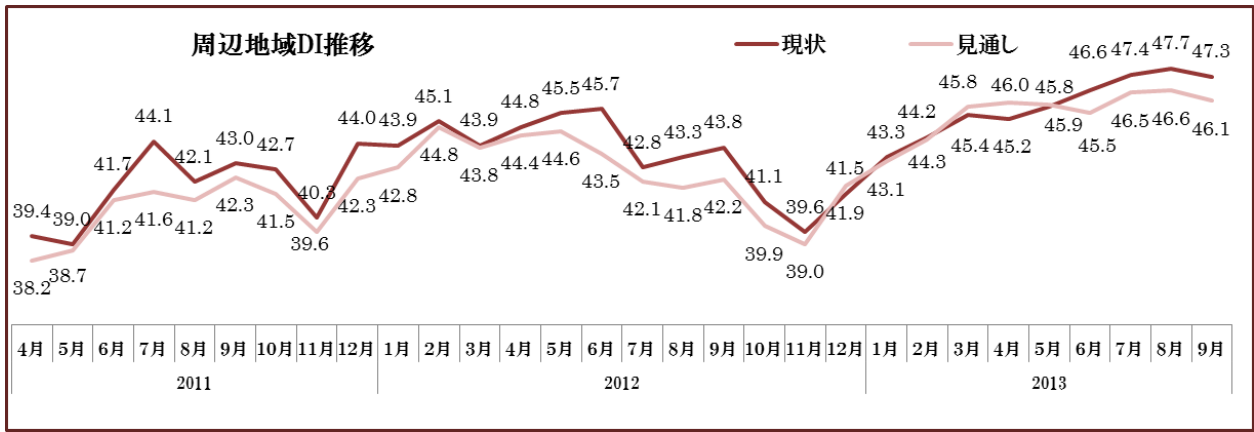
③消費者購買意欲 DI (現状判断・見通し)

現状判断は最高値を更新し、引き続き高水準を維持、見通し判断は横ばい



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

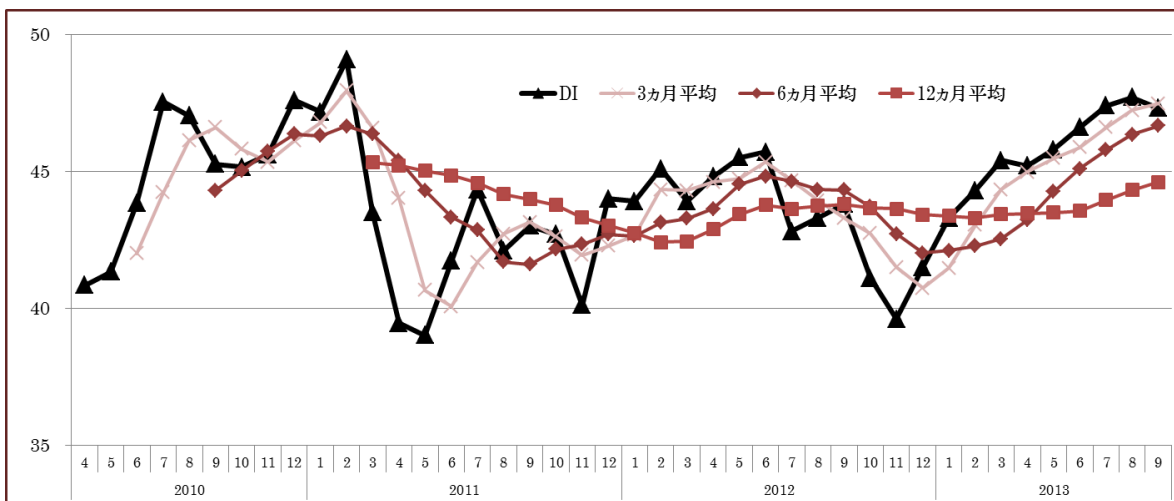
現状判断、見通し判断共にやや頭打ち傾向



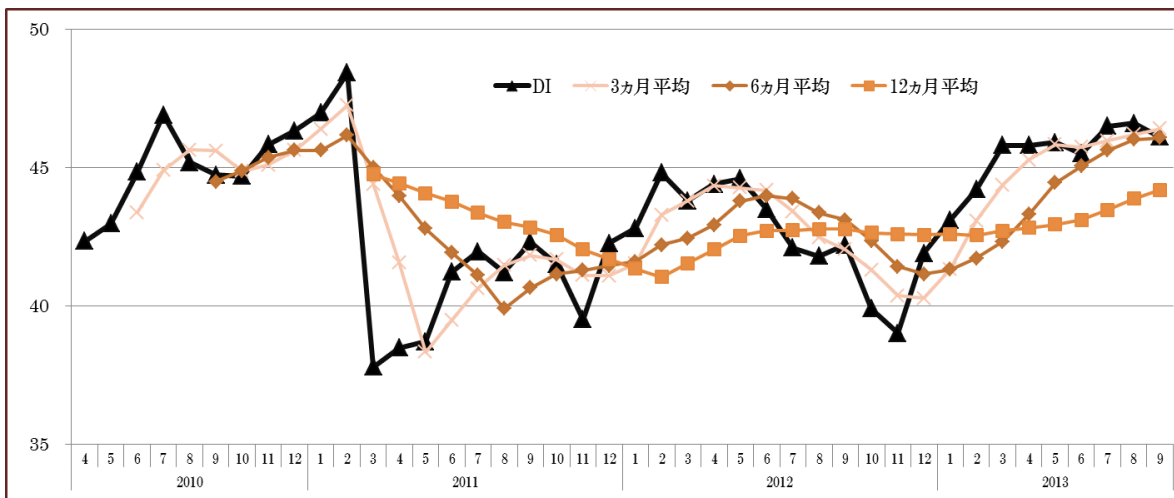
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

単月DIはやや下降傾向となったものの、依然として高い水準を維持している。各移動平均線は引き続き上向きである。ただし、単月DIが3ヵ月、6ヵ月移動線と交わっており、上昇の勢いに陰りも見られる。現状判断に比べ、見通し判断に陰りがみられる傾向は先月から継続している。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）



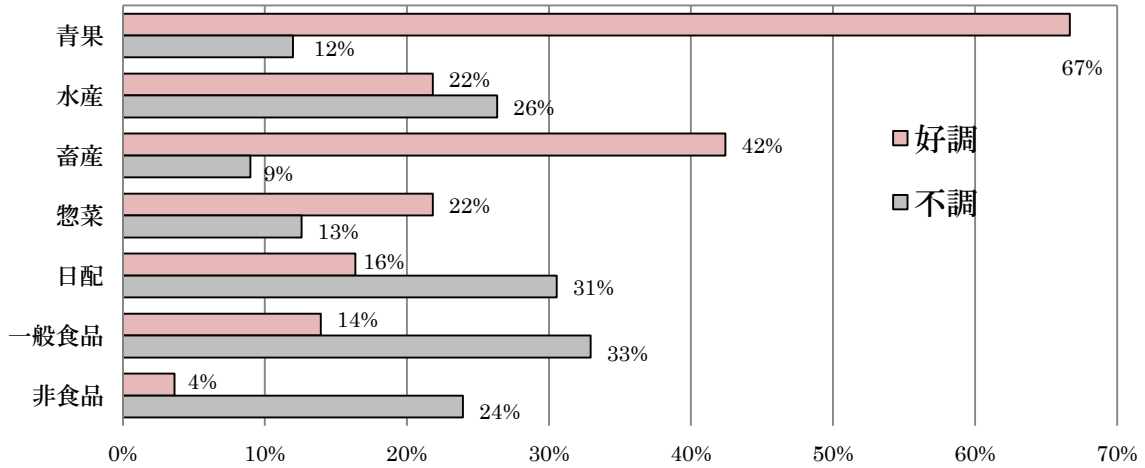
III. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

不調回答割合上位カテゴリー：①「一般食品」②「日配」③「水産」

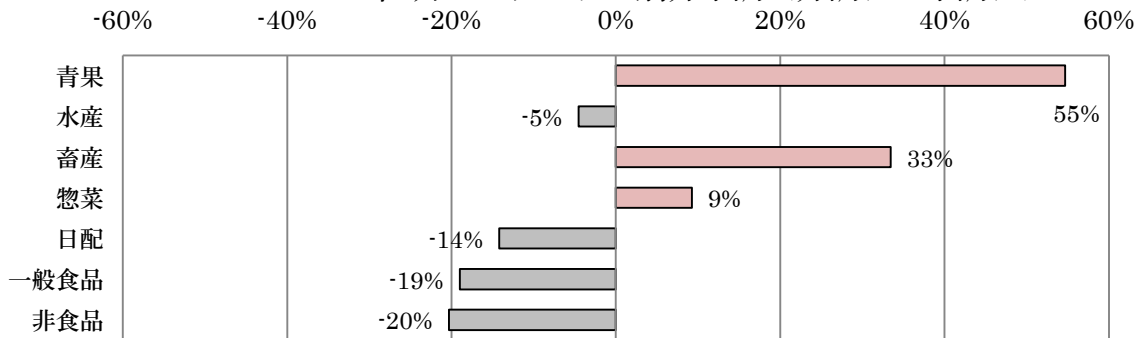
2013年9月 カテゴリー別好不調 (回答割合%)



好調% > 不調%：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

好調% < 不調%：①「非食品」②「日配」③「一般食品」

2013年9月 カテゴリー別好不調 (好調% - 不調%)



※N=165

②カテゴリー別主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場高	果物、相場高で買い上げ点数減
水産	秋物、(刺身、塩干類、加工品)	相場高、生魚入荷減少(さんま)、(うなぎ)
畜産	牛肉、豚肉、鍋商材、販売強化	精肉相場高
惣菜	連休需要確保への取り組み	(寿司)(競合)
日配	(おでん食材)(パン)	アイス、冷凍食品
一般食品	(菓子)、(ビール)	飲料、米相場安、ビール、菓子
非食品		(衣料品)

() は少数コメント